

校長のつぶやき II

校長室便り 第40号

令和2年10月30日 山内

○公開研究授業 -2年生 英語 引地力也先生-



10月29日(木)2年2組の引地先生の英語の時間は公開研究授業でした。このことは、高校教育課に指導主事派遣をお願いして授業に関して指導助言をいただき、校内外から多くの先生方にも参観していただきました。大崎市教育委員会教育長の熊野充利先生にもご指導いただき、岩高生の真摯な取り組み具合や引地先生の新しい事への挑戦についておほめの言葉をいただき、「あせらず、あわてず、あきらめず」授業を頑張ってくださいとのエールを

いただきました。高校教育課指導主事の鈴木尚純先生からは、先生が主役の授業ではなく、岩高生が英語を使って授業の主役となるように、もっとゆっくり岩高生が安全安心するようといったご助言をいただきました。

他にも中新田高校や大崎中央高校、宮崎中学校といった管内の中高の先生方、岩高のほとんどの先生方にも参観いただいたので、小人数12人クラスの生徒数より多い先生方の数でした。授業の後には写真にあるように、授業に関する合評会が行われ、様々な先生方からの意見を引地先生は熱心にメモを取りながら学んでいました。生徒に教えるには教師という職業は学び続けなければならない職業なのです。来週から11月ですが、9日(月)には再度高校教育課から指導主事の先生方2名をお呼びしてご指導いただく予定です。13日(金)までは公開授業週間なので1年生から3年生まですべての授業を公開しますが、いつものような元気な姿勢で授業に参加してください。なお定期考査は20日(金)からです。



○来週から11月 -ハロウィンって何ですか-

明日10月31日(土)はハロウィンです。コロナ禍ですので、毎年問題となっている仮装しての大騒ぎ密集はないと思いますが、「秋の収穫祭」「悪魔払い」「万聖節前夜」といった言葉をもとに本来の姿を調べてみてください。仮装と言うよりコスプレで大騒ぎしている愚かな日本人を、サッカーやラグビーのW杯でゴミを残さない日本人なのに、ハロウィンではゴミをまき散らかしていることを、欧米のキリスト教信者の方々はどう見ているのかを知ってください。我々90年代はじめに教壇に立っていた者にはハロウィンと言えば、「freeze」と「please」の間違いによる日本人高校留学生誤射事件という残念な事が思い出されます。英語の発音とカリスニングといった専門的なことではありません、浅くていいので海外の文化をしっかりと学ぶことです。その何倍も自国、つまり日本のことをしっかりと学ぶことです。授業をさぼって抜け出したという岩高生の報告がありました。言語道断です。一時間一時間の授業をしっかりと受けてください。取り組む姿勢が求められています。ではこれで校長のつぶやきはおしまいです。久しぶりに詠みます。お粗末ですが。

ハロウィンのお化けカボチャは笑ってるなんとおろかな日本人ジャック

ハロウィンで「とりっこ」を「とり」言ったならお菓子じゃなく鶏モモでできた